

港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校
令和6年度 授業改善推進プラン

| | | | |
|----|-------------------------|---|---|
| 国語 | 育成を目指す資質・能力 | 全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 | ・漢字の読みはできる生徒が多いが、書きに対しては苦手な生徒が多いことが課題である。 ・論説文などで筆者の主張を読み取る力は全体的に高いが、物語文等で登場人物の心情や性格を読み取ることが難しく、課題が残る。 | ・普段から漢字を使うようになる工夫を行い、定着を図る。 ・場面理解を徹底し、登場人物の人物像をより丁寧に理解させることで心情を読み取る能力の向上を図る。 |

| | | | |
|----|-------------------------|--|--|
| 社会 | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 | ・基礎基本は定着している生徒が多いが、分野による差や個人差がみられることが課題である。 ・ワークシートによる記述と比べてICTの入力の方が意欲的に取り組む傾向がある。記述論述による表現がしっかりとできるようにすることが課題である。 | ・基礎基本の確実な理解のための学習活動や、地図や統計、史料等を読み取る技能の確実な定着を図るための活動を行う。 ・社会的事象を考察し、自ら判断し、その過程や結果を言葉や文章や作品等を通して表現できるような学習活動を協働的な学習も含めて行うことで、目指す能力の伸長を図る。 |

| | | | |
|----|-------------------------|--|--|
| 数学 | 育成を目指す資質・能力 | 全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 | ・例題レベルの力は定着しているものの、応用問題へ理解や考え方が不十分である。 ・学習に意欲がある生徒とない生徒で差があり、学力が二極化している。 ・基本的な計算能力はあるものの、分数計算や割合、速さなどの理解に不十分な点が見られる。 | ・応用問題に慣れるように、単元ごとに演習を繰り返していく。 ・個別の対応をより充実させて定着を図る。 ・計算方法や用語など、既習事項の確認を意識的に行う。 ・既習内容の計算技能を高める。(授業導入時の計算ドリル、定期テストへの出題など) ・練習問題では応用問題にも取り組み、図や表など活用して、丁寧に説明を行う。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|--|
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> すべての分野における基本的な知識の理解、習得 実験の際の器具の扱い、技能の習得 実験結果をもとにしてどのような現象が起こっているかを思考する力と、自らの考えを表現する力 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学力の定着に課題があり、基本の内容が身に付いている生徒とそうでない生徒の差があり、二極化している状況もある。特に計算問題ができない生徒が多数みられる。 実験時、基本的な実験器具の操作や結果をもとにして考察を行う点について課題がある。 実験結果をもとに考えた内容を、わかりやすく端的に表現することに課題をもつ生徒がみられる。 | <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し計算問題に取り組ませ、基礎的な計算能力と計算の考え方を身に付けさせる。 正しい実験器具の使い方について、説明するだけでなく、操作の仕方について動画を視聴しながら実際の操作や説明を行う。 考察の際に着目するポイントをはっきりさせながら指導を行い、自らの考えを積極的に表現させる。その際の表現方法についても留意点をしっかりと伝える。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|--|
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能 思考力、判断力、表現力 | <p>よりよい音楽表現や価値を追求するため、これまで学習した内容(知識・技能、考えたことなど)を今の学習に生かすことに課題がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 題材の導入時に、題材同士の関連を明確にしてわかりやすく示し、既習内容を本題材の学習に積極的に生かすよう助言する。 本題材に関連する既習事項の復習時間を作る。板書やワークシートに可視化して示す。 これまでの学習を生かして取り組んでいる生徒の発言や活動例などを取り上げ模範として示す。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|--|---|
| 美術 | <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能 思考力、判断力、表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 作品制作において、アイデア考察時の発想力の広がりや、制作を進めていく段階でそれらが薄れていってしまうことが課題となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 題材ごとのワークシートに自分の想いや改善点を毎時間考えて記入して振り返ることで、制作したことを考え、表現方法や技法を考察する。個々の想いが、十分に込められた作品制作を行う。 自分の想いをもつことで作者の想いや意図を感じ、豊かな感性をもてるよう相互鑑賞の機会を作る。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|------|---|---|---|
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能 思考力、判断力、表現力 | <p>令和6年度の新体力テストの結果から「ハンドボール投げ(巧緻性)」「長座体前屈(柔軟性)」が課題となっている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 単元により関連して高まる体力を知ることや体力の課題を共有することで、技能向上や体力向上を目指す。 ペア活動、グループ活動、タブレット学習を通じて自分の考えをまとめたり、伝えたりする機会を作る。 |

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 技術・家庭 | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・生活に活用する能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得と、活用について生徒ごとの差がみられる。 ・課題設定や解決のための取組み方や思考力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活と技術についての基礎的な知識の習得を促し日常生活内で課題を設定し、解決策を構想する。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた考察や、工夫・創造ができるよう発表の機会を増やす。 |

| | | | |
|------------|--|--|--|
| 外国語(英語・国際) | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・意味のある文脈でのコミュニケーションを通して、基本的な語や文法の定着を目指す。 ・主体的・対話的な学習に取り組み、事実や自分の考え、気持ちをまとめ表現する力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・綴りの正確性や語彙の充実。 ・文法問題での既習事項の組み合わせ。 ・日常的に簡単な英語を話す力についてはきているが、それを文字に起こすことや、読むことに苦手意識をもちがちである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動でビンゴでの反復学習に加え、定期的に語彙に関する小テストを行う。 ・教科書の音読練習や、教科書のスキットをふまえたオリジナル会話活動を通じて、文の構造をインプットする。 ・プレゼンテーションや表現活動でのアウトプットの際、NTのさらなる活用を図る。 |

| | | | |
|----|--|-------------|---|
| 道徳 | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・時節にあった題材を用い、生徒の気持ちに寄り添った共感的な授業になるよう課題設定を行う。仲間の意見を受容し、互いを認め合える機会となるよう、意見共有の場を増やす方法を工夫する。 ・学年教員が全クラスの道徳授業を担当することで多種多様な考え方や価値観を共有する機会を増やす。 |

| | | | |
|------|---|-------------|---|
| 特別活動 | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 多様な他者と協働する行動の仕方を身に付け、人間関係の課題を見だし合意形成を図り、自己実現を図ろうとする態度を養う。 | | <ul style="list-style-type: none"> 生徒相互の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方や資料等を手掛かりに考えたり話し合ったりすることを通して、自己の考え方を協働的に広げ深め、対話的な学びの実現を図る。 |

| | | | |
|-----------|---|-------------|--|
| 総合的な学習の時間 | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画する態度を養う。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な活動を中心に、協働学習の推進を行う。 ・調べ学習やその他活動においても、各種 ICT 機器を活用しながら、他者の意見を参考にし、自らの考えを深められるよう指導の工夫を行う。 ・活動がどのように社会に影響するか等、実際の社会につながる指導を織り交ぜ、興味喚起の強化を行う。 |